

第60回（第10期2月「すだち」交流会）報告

60回交流会が2月19日、日曜日午前10時から障がい者交流プラザに、当事者・家族等23名が参加して開かれました。はじめに、初めて家族会交流会に参加された2家族6名の自己紹介が行われたのに続いて、参加会員の近況報告を行い、その後事務局から提起された諸課題（下記）について参加者で議論し正午に解散しました。

1、交流会を会員全体の（魅力ある）ものにして行く。

事務局まかせにしないで、積極的案を出し全体で確認し実施していく。特に野外交流会を予定している4月、9月に何を希望するかを事務局に連絡、事務局では素案を策定し3月交流会でまとめる。（連絡先090-4410-1184岩本携帯）

2、家族会、行政、医療機関等への要望（悩み、制度、治療、）

具体的要望（特に行政機関に対して）をまとめ、8月、9月懇談会に生かす。

要望案件を上記1と同様事務局に連絡。（連絡先090-4410-1184岩本携帯）

注：早々に、県立の総合リハビリテーションセンターの設置の要望案が出ました。

3、障がいを理解してもらう取り組みを日常活動で行っていく。

①、宣伝物、季刊誌を原則手渡しで行い声かけ活動を行う。

②、季刊誌等の配布物の配布方法の変更を別紙で確認し実施する。

季刊誌28号について、配布者に手渡し、未配布の出にする。発行2～3週間でも手渡しできない場合は、郵送。（郵送費用は事務局で後日精算）

4、3月交流会に向けて

当事者を中心とした交流会とする。家族支援の視点を見つけ出す。

当事者を中心とするが専門家の配置を検討。家族は、学習見学（専門家による会の運び方・言葉遣い・意見の聞き出し方・まとめ方）を行い交流会のまとめは、全体で行い意見交換を行う。

5、総会答弁での追加報告（会計監査意見案件）

①郵便物発送領収書について、徳島・津田両局で発行確認をおこなった、「必要であれば局に来ていただければ説明をする」との確認を得ている。会計監査委員、会長が同行し両局で確認し、交流会時に会計監査委員から報告。

②リハ講習会の決算報告書について、報告書写しを実行委員会入手。残金の返納確認について、送金書の写し等確認、会計監査委員の確認を得て、交流会時に会計監査委員から報告。

6、ホームページ掲示板の扱いについて、

掲示板に掲載された、意見、聞き合わせに対する回答（返信）体制が充分（まったくなされていない）でないことから会員用掲示板を一時閉鎖します。

（再開までの間会への問い合わせは、会長または事務局。会長090-9555-9447
事務局 090-4410-1184岩本携帯）

7、全国大会参加に係る費用概算並びに岐阜の観光地

岐阜県で開催予定の脳外傷友の会全国大会、1泊2日で、移動手段によりますが33000～45000が必要、有名観光地、食べ物等の説明。(参加費用は、会からも予算の範囲内で負担しますが原則自己負担です。)

8、その他

- 1) 宣伝活動の強 ①2月に徳島大学(永廣顧問)より、南天九猿70体の買い上げ ②9月看護講習会に向けて、南川先生より50体の依頼 ③委託展示販売先の拡大と宣伝を強める。
- 2) フリマ活動への参加 ①宣伝物(チラシ)の準備②不用品の収集 ③展示台の工夫
- 3) 高次脳機能障がい実践的アプローチ講習会(3月21日から4月4日申し込み期間、参加希望者は事務局に)
- 4) 会員名簿の取り扱いについて、会員配布について3月交流会で最終確認。(会員間の連絡用に氏名、電話番号について会員に配布する。住所等についてはお互い連絡を取り合う)

==追記==

ホームページ掲示板閉鎖に伴い、会の活動状況等につきましては、おしらせ欄、活動報告ページを見ていただきたいと思います。

次回交流会日時(61回・10期3月)

3月18日(土曜日)10時から

徳島県立障がい者交流プラザ・ボランティア室